

腎臓内科学

名誉教授 阿部富彌

教授 重松 隆

准教授 根木茂雄

講師 美馬 亨・大矢昌樹

助教 半羽慶行・是枝大輔

研究概要

I. 腎機能障害進展調節（腎機能障害を抑制し、回復させる手段の構築）

1. 腎不全患者約1500例のデータから、腎不全の進行を加速する要因とその是正手段について検討し、降圧薬（ACEI, ARB）と経口吸着療法用炭素製剤との併用療法の意義を検討中である。一部の患者でみられる腎機能の回復についても解析中である。
2. カルシウム・リン管理と PTH 制御の腎不全進行に及ぼす影響を腎不全モデルで検討し、calcimimetics を投与すると PTH,カルシウム・リン積は著明に低下し、腎不全の進行は抑制された。今後は臨床での検討が期待される。
3. 腎機能障害を促進・あるいは修復する遺伝子の解明を目的に、腎不全病態で発現の変化する腎組織遺伝子とそれらの表原型を解析中である。

II 腎不全合併症とその修復

1. 副甲状腺カルシウム受容体(CaR)異常の2次性副甲状腺機能亢進症(2HPT)における病因的意義を解明するため、腎不全ラットの副甲状腺 CaR、ビタミンD受容体発現と細胞増殖の関連と、これに及ぼす各種治療の影響を検討した。その結果、各種の治療手段が各々の機序で 2HPT の発症・進展を調節できることが示された。
2. 無形成骨症の原因である PTH に対する腎不全骨の抵抗性と、腎不全にもかかわらず十分な PTH が分泌されない機序を検討した。
3. 2 HPT に関連する遺伝子異常について、2 HPT ラットと正常ラットの副甲状腺内遺伝子の相違から候補遺伝子の同定を試みている。
4. 難治性 2 HPT 患者に活性型ビタミンD製剤を副甲状腺内に直接注入し、本法はエタノール局注法に匹敵する効果をより安全に達成できること、その過程に副甲状腺細胞アポトーシスの関与することを示した。
5. 血液透析患者の転帰と管理方法の関連に関する国際共同研究として、日、米、欧の国際研究を4年間にわたり実施し、その結果は次々と論文化している。
6. 新しい腎不全治療システムとして、連日短時間血液透析を導入し、その効果を多施設共同で検討した。その結果、本法は患者予後や QOL の向上につながる事が明らかにされ、本システムの在宅治療用機器開発を進めている。

◇著書

1. 岡本昌典・重松隆：腎機能障害．ビスホスホネートエビデンスブック，宗圓 聡，杉本 利嗣編，医薬ジャーナル社，東京：247-254, 2013
2. 阿部貴弥：多発性嚢胞腎（常染色体優性多発性嚢胞腎）.今日の治療指針 TODAY'S THERAPY2013, 山口徹，北原光夫，福井次矢 総編，医学書院，東京：559-561,2013
3. 岡田規・重松隆：B 上皮小体（副甲状腺）の内分泌機能検査． ベッドサイド泌尿器科学 改訂第4版，

吉田修監, 南江堂, 東京:773-775,2013

4. 重松隆・植木隼人: 高 P 血症に対する透析方法の工夫. CKD-MBD 診療ポケットガイド ガイドラインに基づく実践, 横山啓太郎, 南江堂, 東京: 148-155, 2013
5. 山中慎太郎・重松隆・植木隼人: 透析条件変更による高 P 血症対策. 慢性腎臓病に伴う骨・ミネラル代謝異常 (CKD-MBD) 改訂版, 深川雅史監, 横山啓太郎編, 医薬ジャーナル社, 大阪:222-230, 2013
6. 半羽慶行・重松隆: カルシウム受容体作動薬. 腎不全治療レシピ, 丹羽利光編, 医学出版, 東京: 201-208, 2013
7. 是枝大輔: 透析条件、透析液組織は CKD-MBD の進行に影響するか?. CKD-MBD ハンドブック 2, 深川雅史編, 日本メディカルセンター, 東京: 226-229, 2013
8. 根木茂雄・重松隆: シェント (バスキュラーアクセス) とペリトネアルアクセス. やさしい透析患者の自己管理, 秋澤忠男編, 医薬ジャーナル社, 大阪: 23-27, 2013
9. 阿部貴弥: その他の血液浄化療法. 日本急性血液浄化学会標準マニュアル, 日本急性臓腑浄化学会編, 医学図書出版, 東京: 86-95, 2013

総説

1. 是枝大輔・重松隆: XII. ガイドラインでは語れないオピニオン(4)透析液の Ca 濃度 臨牀透析 29:107-111, 2013
2. 重松隆: III. Clinical nephrology E. 腎不全 (AKI, CKD, 移植, 透析含む) 7. 全自動血液透析装置の開発と安全性の評価 腎臓 2013:338-345, 2013
3. 日本透析医学会統計調査委員会統計解析小委員会・中井滋・渡邊有三・政金生人・和田篤志・庄司哲雄・長谷川毅・中元秀友・山縣邦弘・風間順一郎・藤井直彦・伊丹儀友・篠田俊雄・重松隆・丸林誠二・守田治・橋本整司・鈴木一之・木全直樹・花房規男・若井建志・濱野高行・尾形聡・土田健司・谷口正智・西裕志・井関邦敏・椿原美治: わが国の慢性透析療法の現況 透析会誌 46(1):1-76, 2013
4. 根木茂雄・美馬亨・重松隆: 特集 維持透析患者の消化管疾患—症状からみた傾向と対策 IV. 薬剤性胃腸障害とその対策—NSAIDs, セベラマー, シナカルセト, 炭酸ランタン— 臨牀透析 9(2):175-180, 2013
5. 重松隆・龍田浩一・山中慎太郎・山本脩人・田中佑典・是枝大輔・半羽慶行・根木茂雄: 災害時に起こりうる諸問題 和歌山での経験 腎臓 5(3):182-190, 2013
6. 根木茂雄・重松隆: case40 血液透析中に副甲状腺ホルモン上昇と高リン血症がみられた 69 歳男性 腎臓内科疾患 (第 2 版) KIDNEY DISEASES:341-347, 2013
7. 屋代充・重松隆: Fibroblast growth factor-23 (FGF-23) 腎・高血圧の最新治療 3 2(2):104, 2013
8. 重松隆: 書評 AKI (急性腎障害) のすべて 臨床雑誌 内科 検査値を読む 2013 111(6):1228, 2013
9. 根木茂雄・是枝大輔・重松隆: 急性腎障害 (AKI) に対する血液浄化療法—持続的腎代替療法を中心に— 日本腎臓学会誌 55(4):529-533, 2013
10. 根木茂雄・龍田浩一・重松隆: 災害時の透析医療と危機管理: 日本腎臓学会誌 55(4):534-538, 2013
11. 大矢昌樹・重松隆: 肥満関連腎臓病 生活習慣病改善指導士ハンドブック: 116-118, 2013
12. Masafumi Fukagawa, Keitaro Yokoyama, Fumihiko Koiwa, Masatomo Taniguchi, Tetsuo Shoji, Junichiro James Kazama, Hiroataka Komaba, Ryoichi Ando, Takatoshi Kakuta, Hideki Fujii, Masaaki Nakayama, Yugo Shibagaki, Seiji Fukumoto, Naohiko Fujii, Motoshi Hattori, Akira Ashida, Kunitoshi Iseki, Takashi Shigematsu, Yusuke Tsukamoto, Yoshiharu Tsubakihara, Tadashi Tomo, Hideki Hirakata, Tadao Akizawa: Clinical Practice Guideline for the Management of Chronic Kidney Disease—Mineral and Bone Disorder Therapeutic Apheresis and Dialysis: 17(3):247-288, 2013
13. Shigematsu T, Akizawa T, Uchida E, Tsukamoto Y, Iwasaki M, Koshikawa S, KRN1493 Study Group: 血液透析施行中の二次性副甲状腺機能亢進症を対象としたシナカルセト長期投与試験による骨代謝の改善 Nephrology Frontier 増刊号 シナカルセトの evidence と新展開 -5th Anniversary- :44-47, 2013
14. 重松隆・稲葉雅章: CKD-MBD 最前線 —骨代謝と生活習慣の連関—O.li.ve 3(3):170-177, 2013
15. 重松隆: ランタン製剤の安全性について 臨牀透析 29(10): 44, 2013

16. 是枝大輔・重松隆：透析液のCa濃度をどのように選択するか 透析フロンティア：28-29,2013
17. 阿部貴弥：透析患者に対する薬の使い方 胸・腹水 腎疾患治療薬マニュアル 2013-2014：387-389,2013
18. 阿部貴弥・藤岡知昭：血清蛋白,その他の生化学検査 アルブミン 内科 111(6)：1279,2013
19. 中島悠里・美馬亨・増本明日香・岩谷由佳・重松隆：慢性腎臓病(CKD)患者と血液透析患者の骨粗鬆症 日本臨床(増刊号)最新の骨粗鬆症学 骨粗鬆症の最新知見：551-554,2013
20. Nakai S, Watanabe Y, Masakane I, Wada A, Shoji T, Hasegawa T, Nakamoto H, Yamagata K, Kazama JJ, Fujii N, Itami N, Shinoda T, Shigematsu T, Marubayashi S, Morita O, Hashimoto S, Suzuki K, Kimata N, Hanafusa N, Wakai K, Hamano T, Ogata S, Tsuchida K, Taniguchi M, Nishi H, Iseki K, Tsubakihara Y. Overview of regular dialysis treatment in Japan (as of 31 December 2011) Ther Apher Dial. Dec;17(6):567-611,2013

◇原著

1. Tsutomu Sanaka, Takahiro Mochizuki, Eriko Kinugasa, Eiji Kusano, Shigeru Ohwada, Tsutomu Kuno, Kenichiro Kojima, Shuzo Kobayashi, Minoru Satoh, Noriaki Shimada, Kazushi Nakao, Ryoichi Nakazawa, Hideki Nishimura, Eisei Noiri, Takashi Shigematsu, Tadashi Tomo, and Teiryō Maeda, and the VESSA Study Group: Randomized Controlled Open-Label Trial of Vitamin E-Bonded Polysulfone Dialyzer and Erythropoiesis-Stimulating Agent Response. Clinical Journal of the American Society of Nephrology June 8(6):969-978,2013
2. Masaki Ohya, Haruhisa Otani, Yoshinobu Minami, Shintaro Yamanaka, Toru Mima, Shigeo Negi, Susumu Yukawa, Takashi Shigematsu: Tonsillectomy with steroid pulse therapy has more effect on the relapse rate than steroid pulse monotherapy in IgA nephropathy patients. Clinical Nephrology 80:47-52,2013
3. Taniguchi M, Fukagawa M, Fujii N, Hamano T, Shoji T, Yokoyama K, Nakai S, Shigematsu T, Iseki K, Tsubakihara Y Serum phosphate and calcium should be primarily and consistently controlled in prevalent hemodialysis patients.: Committee of Renal Data Registry of the Japanese Society for Dialysis Therapy. Ther Apher Dial. Apr17(2):221-8,2013

◇その他の論文(症例報告等)

1. 加茂歩美・阿部貴弥・孫野茂樹・横山朋大・深川雅史：光学式非観血的連続ヘマトクリットモニターによる循環血液量の変化率に奇異な変動を示したメシル酸ナファモスタット特異的IgE抗体陽性の血液透析患者の1例. 日本急性血液浄化学会雑誌 4(2):168-171,2013

◇学会報告

a) 国際学会

1. Hirosuke Nakata, Haruhisa Otani, Naoya Kodama, Toshihiro Kodama, Akifumi Maeda, Susumu Yukawa, Takashi Shigematsu: What Factors are Associated with the Ratio of Eicosapentaenoic Acid to Arachidonic Acid in Japanese Patients with End-Stage Renal Disease? WCN 2013 Satellite Symposium Kidney and Lipids 2013.6.5-7, Fukuoka
2. Masanori Okamoto, Shintaro Yamanaka, Wataru Yoshimoto, Takashi Shigematsu: Alendronate is desirable effective treatment on bone loss and vascular calcification in kidney recipients. CAST 2013 (The 13th Congress of the Asian Society of Transplantation) 2013.9.2-6, Kyoto

b) シンポジウム・学術講演等

1. 重松隆：特別講演「心臓と腎臓の接点」伊都医師会学術講演会 2013.3.16. 橋本
2. 阿部貴弥：特別講演「透析患者のカルニチン代謝」透析とカルニチン学術講演会 2013.3.21 盛岡
3. 常磐傑・阿部貴弥：一般演題「当院における維持透析患者のレストレスレッグス症候群について」第4

9 5 回岩手泌尿器科懇話会 2013.6.28 盛岡

4. 大矢昌樹：特別講演「肥満・糖尿病とCKD」伊都地区糖尿病学術講演会 2013.8.1 伊都
5. 重松隆：特別講演「CKDと心腎相関：心臓と腎臓の接点」徳島県高リン血症治療研究会 2013 2013.9.19 徳島
6. 阿部貴弥・丸山徹：シンポジウム「アルブミンを利用しアフェレシスの有効性」第34回日本アフェレシス学会学術大会 2013.11.1-3 軽井沢
7. 阿部貴弥：「急性肝不全用一体型個人用血液濾過透析機器の開発」革新的医療機器等 開発事業進捗・成果発表シンポジウム 2013.12.19 盛岡

c) 全国学会

1. 池田雅人・平野景太・横山啓太郎・細谷龍男・安藤亮一・常喜信彦・小岩文彦・小松康宏・篠田俊雄・重松隆：透析導入期における代謝性アシドーシス(Acid)の解析 第110回日本内科学会講演会 多様性に対応する内科学 2013.4.12-14 東京
2. 池田雅人・平野景太・横山啓太郎・細谷龍男・安藤亮一・小岩文彦・小松康宏・常喜信彦・篠田俊雄・重松隆：透析開始前ESA使用は脳・心血管死亡減少に関連する 第110回日本内科学会講演会 多様性に対応する内科学 2013.4.12-14 東京
3. 大矢昌樹・大谷晴久・山中慎太郎・増本明日香・中島悠里・是枝大輔・半羽慶之・美馬亨・根木茂雄・重松隆：IgA腎症患者における扁桃ステロイドパルス単独療法に対する臨床的寛解からの再発に関する検討 第56回日本腎臓学会学術総会 2013.5.10-12 東京
4. 重松隆・根木茂雄：高リン血症を呈する保存期慢性腎不全患者に対する炭酸ランタンの二重盲検プラセボ対象のリン低下効果の検討 第56回日本腎臓学会学術総会 2013.5.10-12 東京
5. 重松隆：CKD患者におけるCKD-MBD管理 第56回日本腎臓学会学術総会 2013.5.10-12 東京
6. 丸山之雄・横山啓太郎・重松隆・谷口正智・風間順一郎・細谷龍男：慢性血液透析患者における血中ALP値と生命予後の検討 第58回日本透析医学会学術集会・総会 2013.6.20-23 福岡
7. 池田雅人・平野景太・横山啓太郎・細谷龍男・安藤亮一・常喜信彦・小岩文彦・小松康宏・篠田俊雄・渡辺尚・稲熊大城・山家敏彦・坂口俊文・重松隆：導入時の心不全合併に関連する因子の解析 第58回日本透析医学会学術集会・総会 2013.6.20-23 福岡
8. 龍田浩一・山本脩人・田中佑典・瀬古博之・半羽慶行・是枝大輔・山中慎太郎・重松隆：当院における診療報酬改定前後のPTA施行状況の検討 第58回日本透析医学会学術集会・総会 2013.6.20-23 福岡
9. 安藤亮一・島崎雅史・大場博・稲熊大城・池田雅人・小松康宏・坂口俊文・常喜信彦・篠田俊雄・根木茂雄・重松隆：透析導入患者における脂質異常とスタチンに関する検討 第58回日本透析医学会学術集会・総会 2013.6.20-23 福岡
10. 芝地栄登・秋山速・馬場俊和・笹原寛・角門真二・児玉敏宏・後藤哲也・児玉直也・前田明文・大谷晴久・重松隆：当院透析患者に対する睡眠時無呼吸症候群の実態調査 第58回日本透析医学会学術集会・総会 2013.6.20-23 福岡
11. 増本明日香・大矢昌樹・中島悠里・岩谷由佳・山中慎太郎・是枝大輔・半羽慶行・美馬亨・根木茂雄・重松隆：血漿交換が著効した自己免疫性自律神経節障害(AAG)の一例 第58回日本透析医学会学術集会・総会 2013.6.20-23 福岡
12. 浅川貴介・小松康宏・安藤亮一・常喜信彦・長谷弘記・池田雅人・稲熊大城・小岩文彦・坂口俊文・篠田俊雄・根木茂雄・重松隆：ESA世代の変化が透析開始時Hb値に与える影響 第58回日本透析医学会学術集会・総会 2013.6.20-23 福岡
13. 石亀昌幸・三木康平・小田稔・梅田恭史・成川暢彦・成川守彦・重松隆・佐々木秀行・西理広・南條輝志男・赤水尚史：血液透析患者の栄養評価にGNRIは有効か 第58回日本透析医学会学術集会・総会 2013.6.20-23 福岡
14. 是枝大輔・増本明日香・中島悠里・岩谷由佳・山中慎太郎・半羽慶行・大矢昌樹・美馬亨・根木茂雄・重松隆：不明熱の原因精査中に透析導入となった肺結核の一例 第58回日本透析医学会学術集会・総

会 2013.6.20-23 福岡

15. 新屋智珠子・阿部泰代・後藤哲也・前田明文・児玉直也・笹原寛・角門真二・児玉敏宏・芝地栄登・大谷晴久・重松隆：当院における在宅血液透析導入期の支援～聴くこと、語ること～ 第58回日本透析医学会学術集会・総会 2013.6.20-23 福岡
16. 重松隆：透析患者のCKD-MBD管理 第58回日本透析医学会学術集会・総会 ランチョンセミナー41 2013.6.20-23 福岡
17. 永井万智子・重松隆：維持血液透析(HD)患者における血中尿素窒素とリン濃度の解離についての検討 第58回日本透析医学会学術集会・総会 2013.6.20-23 福岡
18. 竹谷豊・中野智香子・藤井秀毅・角田隆俊・藤井直彦・後藤俊介・衣笠えり子・重松隆：ワークショップ6 CKD-MBD (臨床) 第58回日本透析医学会学術集会・総会 2013.6.20-23 福岡
19. 佐々木成幸・倉本光・矢浦諒・神津純一・佐々木潤・高沢由美子・小松淳・阿部貴弥：透析患者におけるカルニチン濃度と除去動態についての検討 第58回日本透析医学会学術集会・総会 2013.6.20-23 福岡
20. 南雲恒平・杉森剛志・阿部貴弥・申 曾洙・渡邊博志・山田尚之・田中元子・松下和孝・小田切優樹・丸山徹：ESI-TOF MSを用いた透析患者由来ヒト血清アルブミンの翻訳後修飾解析 第58回日本透析医学会学術集会・総会 2013.6.20-23 福岡
21. 是枝大輔・井関景子・北安紀子・國本悟子・田村渉・増本明日香・森嶋真里・中島悠里・岩谷由佳・山中慎太郎・半羽慶行・大矢昌樹・美馬亨・根木茂雄・重松隆・木田真紀・加藤正哉：当院にて高アンモニア血症を呈する小児に対して急性血液浄化療法を実施した2例 第24回日本急性血液 浄化学会学術集会 2013.9.13-14 札幌
22. 佐々木成幸・倉本光・矢浦諒・神津純一・佐々木潤・常磐傑・阿部貴弥・藤岡知昭：高性能血液透析膜によるカルニチン除去動態の検討 Study for the removal of carnitine by high-flux membrane:第51回日本人工臓器学会大会/第5回国際人工臓器学術大会 2013.9.27-29 横浜

d) 地方学会

1. 重松隆：「高リン血症治療の過去・現在・未来」第43回日本腎臓学会東部学術大会 2013.10.4-5 東京
2. 重松隆：「The CKD-MBD」第43回日本腎臓学会西部学術大会 2013.10.11-12 松山
3. 井関景子：「ネフローゼ症候群を発症し、急速に腎機能低下をきたした腎細胞癌の一例」第43回日本腎臓学会西部学術大会 2013.10.11-12 松山
4. 北安紀子：「柴苓湯による急性腎障害の一例」第43回日本腎臓学会西部学術大会 2013.10.11-12 松山

e) その他(研究会等)

1. 阿部貴弥：講演「慢性腎臓病マネジメントのABC」第16回医療スクラム盛岡 2013.1.1.22 盛岡
2. 岩谷由佳：「健診にて蛋白尿、血尿を指摘されたASO陽性の1症例」第13回阪和腎病理検討会 2013.4.25 堺
3. 岩谷由佳：「悪性高血圧の症例に降圧療法が奏功した1例」第2回和歌山腎病理勉強会 2013.10.17 和歌山
4. 重松隆：特別講演「CKDにおける骨ミネラル代謝異常(CDK-MBD)を再考する」第85回神奈川腎研究会総会・研究集会 2013.6.8 横浜
5. 阿部貴弥：ランチョンセミナー「透析療法の解決すべき点-オンライン HDFに期待すること-」第25回岩手透析従事者交流会定例会 2013.6.16 盛岡
6. 根木茂雄：一般演題「保存期から透析導入期までの腎性貧血治療における赤血球造血刺激因子製剤使用の現況」第15回紀泉フォーラム 2013.7.13 泉佐野
7. 重松隆：「リン吸着剤の治療の進歩」第13回東京腎不全骨代謝研究会-透析患者さんのリンの管理- 2013.7.20 東京

8. 重松隆：講義科目「透析患者における検査成績の見方・考え方」平成 25 年度透析療法従事者職員研修 2013.7.20 大宮
9. 重松隆：「PD における CKD-MBD」関西 PD ゼミナール 2013.9.1 大阪
10. 重松隆：特別講演「CKD-MBD の治療-高リン血症対策を中心に-」東葛リンセミナー-CKD Conference - 2013.9.20 柏
11. 重松隆：特別講演「CKD-MBD の治療-保存期高リン血症治療を中心に-」保存期腎不全研究会 2013.9.21 神戸
12. 重松隆：一般講演「保存期における負荷対策の進歩」第 1 回保存期 CKD-MBD 研究会 2013.10.14 東京
13. 重松隆：特別講演「CKD-MBD の治療-高リン血症対策を中心に-」香川県高リン血症治療研究会 2013.10.3 高松
14. 綱木綾・桜糺由紀・菊池克江・川崎明美・阿部貴弥・藤岡知昭：一般演題「当院における「CKD 看護外来」の取り組みと課題」第 47 回岩手腎不全研究会 2013.10.13 盛岡
15. 菊池早苗・加藤里枝・綱木綾・菊池克江・川崎明美・阿部貴弥・藤岡知昭：一般演題「入院時におけるカリウム値の検討」第 47 回岩手腎不全研究会 2013.10.13 盛岡
16. 高橋美穂子・佐藤聡哉・阿部貴弥・藤岡知昭：一般演題「全有機炭素 (TOC) 計 PAT700 を導入して」第 47 回岩手腎不全研究会 2013.10.13 盛岡
17. 是枝大輔：一般演題「当院における CRRT 施行症例の検討」第 1 会和歌山 AKI 研究会 2013.11.7 和歌山
18. 重松隆：ランチョンセミナー「高齢化していくわが国の透析療法の今後を考える」第 44 回徳島透析療法研究会 2013.11.24 徳島
19. 重松隆：特別講演「CKD-MBD の治療-高リン血症対策を中心に-」関西 CKD-MBD 研究会 KICS(kix) 2013.11.28 大阪
20. 田村渉・井関景子・北安紀子・森嶋真里・増本明日香・岩谷由佳・山中慎太郎・是枝大輔・半羽慶行・大矢昌樹・美馬亨・根木茂雄・重松隆：「感染性内膜炎を合併した維持透析患者 3 症例の経験」第 82 回和歌山透析研究会 2013.12.8
21. 榎本即子・秋山速・有本守・加太勇・辻内政行・前田有香・後藤哲也・児玉直也・前田明文・笹原寛・門真真二・児玉敏宏・芝地栄登・大谷晴久・重松隆：「当院における Epo 抵抗貧血症例に対するカルニチンの有用性について」第 82 回和歌山透析研究会 2013.12.8
22. 下中克仁・有馬三喜・安圖和憲・杉本祐也・塩路好之・辻井淳史・高居俊文・植木隼人・有本守・後藤哲也・児玉直也・前田明文・前田有香・芝地栄登・大谷晴久・笹原寛・角門真二・児玉敏宏・重松隆：「各種ヘモダイアフィルタの前希釈オンライン HDF 治療による性能評価」第 82 回和歌山透析研究会 2013.12.8

◇その他（講演会等）

1. 重松隆：特別講演「腎臓は何をしているか」-治療の重要性と最新情報- 2013.3.31 橋本
2. 重松隆：特別講演「CKD-MBD ガイドラインを再考する」第 1 回四万十 CKD-MBD カンファレンス 2013.5.18 四万十
3. 重松隆：特別講演「CKD 患者におけるリン Ca 代謝管理について」第 15 回高知腎臓内科を守る会 2013.5.23 高知
4. 阿部貴弥：教育講演「透析合併症におけるリクセルの効果」盛岡透析アミロイド症講演会 2013.5.25 盛岡
5. 阿部貴弥：パネルディスカッション「尿でわかる心臓病・脳卒中の危険性」市民公開講座 2013.6.29 盛岡
6. 阿部貴弥：講義「アフェレシス治療の実際」第 1 回アフェレシス研修会 2013.7.5-6 東京
7. 阿部貴弥：教育講演「ESA 抵抗性貧血について」岩手透析合併症対策講演会 2013.7.9 盛岡

8. 阿部貴弥：特別講演「慢性腎臓病診療の ABC-慢性貧血治療を中心に-」 廿日会 8 月幹事会講演会 2013.8.9 盛岡
9. 芝地栄登：一般演題「当院における ESA 製剤の使用状況について」 第 1 回和歌山透析合併症研究会 2013.8.31 和歌山
10. 重松隆：ウェブカンファレンス「保存期腎不全におけるリン管理の重要性」 ホレスノールウェブカンファレンス 2013.9.24 インターネット中継
11. 重松隆：特別講演「CKD-MBD の治療-高リン血症対策を中心に-」 北九州 CKD-MBD 治療講演会 2013.9.26 北九州
12. 重松隆：特別講演「透析液から見た透析医療-透析液 Ca 濃度を中心に-」 透析液発売 3 周年記念講演会 2013.10.24 広島
13. 根木茂雄：特別講演「血液透析患者の糖尿病ガイドについて」和歌山 CKD 合併症対策講演会 2013.10.31 和歌山
14. 重松隆：講演「輸液療法の実際」 橋本地域医療連携セミナー 2013.11.8 橋本
15. 重松隆：特別講演「CKD-MBD の治療-高リン血症対策を中心に-」 Dailysis Conference in Kanazawa 2013.11.15 金沢
16. 重松隆：特別講演「CKD-MBD の中でリンを再考する」 第 17 回山形血液浄化研究会 2013.11.14 山形
17. 阿部貴弥：特別講演「ESA 抵抗性貧血について」 岩手県南 CKD 講演会 2013.11.26 一関
18. 重松隆：特別講演「CKD-MBD に対する透析治療戦略～様々な処方薬と透析液 Ca 濃度の使い分け～」 第 5 回滋賀透析スタッフ談話会 2013.11.30 大津

◇研究費交付状況

1. 平成 24 年度科学研究費補助金（基盤研究 C） 重松隆：腎機能障害に伴うリン過剰に応答するリン感受性機構とリンセンサーの探索
2. 平成 24 年度科学研究費補助金（基盤研究 C） 美馬亨：線維芽細胞増殖因子 23 の脾臓における発現の生物学的意義についての解析
3. 平成 25 年度科学研究費補助金（基盤研究 C） 大矢昌樹：腎機能低下に伴う Mg 代謝異常の骨由来リン利尿因子と抗加齢蛋白に対する効果の検討
4. 平成 25 年度日本腎臓財団 腎不全病態研究助成 屋代充：「骨組織におけるビタミン D 誘導体による FGF23 の産生促進作用」